

舞台公演映像をアーカイブしたいと思ったら

EPADでは2025年11月より、アーカイブの通年募集を開始いたしました。
アーカイブ作品は、有識者による審査を行い決定します。

※応募数多数の場合、一時的に受付を停止する場合があります。※通年募集ではアーカイブに際し費用は発生いたしません。



舞台芸術

データベース 一覧

EPAD作品データベースのほか、
各団体と連携し以下のデータベースが公開されています。



早稲田大学演劇博物館が運営する、日本の舞台公演映像の情報検索サイト(日英表記に対応)。JDTAでは、貴重な映像を含めた様々な舞台関連資料を検索・閲覧することができます。また、掲載作品の多くが、演劇博物館内のAVブースで視聴可能です。



NPO法人ダンスアーカイヴ構想が運営する、ダンスビデオのデータベースです。2023年度にEPAD事業で収集した、200点以上の作品を検索することができます。

EPAD+D 作品データベース



EPADがアーカイブする舞台公演映像等の作品情報や権利情報を整理した、舞台芸術データベース。約4,400作品(2026.3.31時点見込)の舞台公演映像を検索できます。過去の作品の情報やチラシ・舞台写真が掲載されている他、視聴可能な場合はその視聴方法もご案内しています。

JATDT 舞台美術作品データベース



日本舞台美術家協会が運営する舞台美術作品データベース。第一線で活躍するプロの舞台美術に関わる、写真・図面・スケッチ・模型写真などが検索できる他、舞台美術に関する文献・オーラルヒストリーも掲載されています。

戯曲デジタルアーカイブ



日本劇作家協会が収集した1,000本以上の戯曲を、作家名・作品名はもちろんのこと、上演時間や上演人数などで検索し、無料で全文を読むことが可能です。また、上演等の申請をサポートする機能も備えています。

運営団体

一般社団法人EPAD
(一社)緊急事態舞台芸術ネットワーク・寺田倉庫株式会社による
EPAD実行委員会を発展させ、上記2団体により2023年設立。
(代表理事)福井健策(骨董通り法律事務所)
(理事)緒方靖弘(寺田倉庫) 伊藤達哉(コーチ・プラザーズ)
三好佐智子(quinada) 松浦茂之(三重県文化会館) 岡室美奈子(早稲田大学)
(顧問)高萩 宏(世田谷パブリックシアター)

協力団体(順不同)

早稲田大学演劇博物館 / (公社)全国公立文化施設協会 / (一社)日本劇作家協会 /
(一社)日本舞台美術家協会 / (一社)2.5次元ミュージカル協会 /
(特非)ダンスアーカイヴ構想 / (株)precog / (独)国際交流基金 /
(株)NHKグローバルメディアサービス / (株)NHKテクノロジー /
(同)小声 / WOWOWエンタテインメント(株) / (株)ステージワークURAK /
(株)エスイシステム / Flat Box / (一社)舞台映像協会 / ハロームビー(株) /
(特非)メディア・アクセス・サポートセンター ほか

助成 文化庁 人材育成・収益化に向けた舞台芸術デジタルアーカイブ推進支援事業



お問い合わせ EPAD事務局
info@epad.terrada.co.jp



WEB・SNS
WEB: <https://epad.jp/> Instagram: epad_official
X: epad_official Facebook: epadofficial



デザイン・イラストレーション: 大石 知足



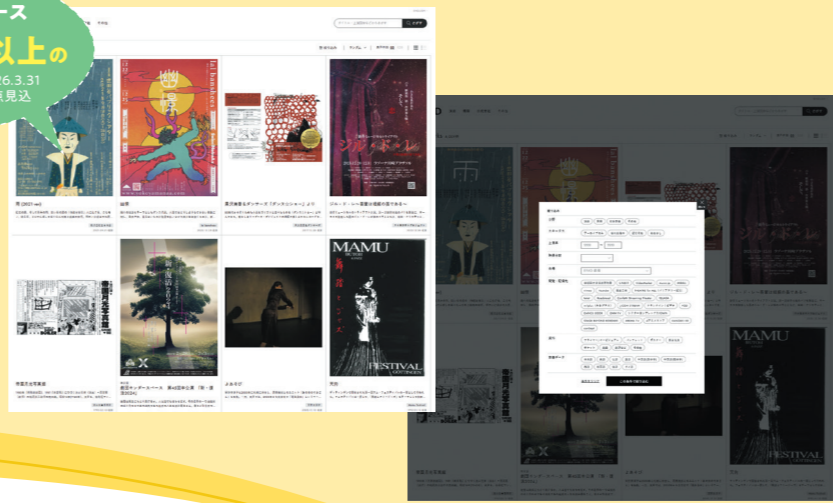


point 1

記録を
たどる

EPAD作品データベース
4,400件以上の
資料が検索可能 ※2026.3.31
時点見込

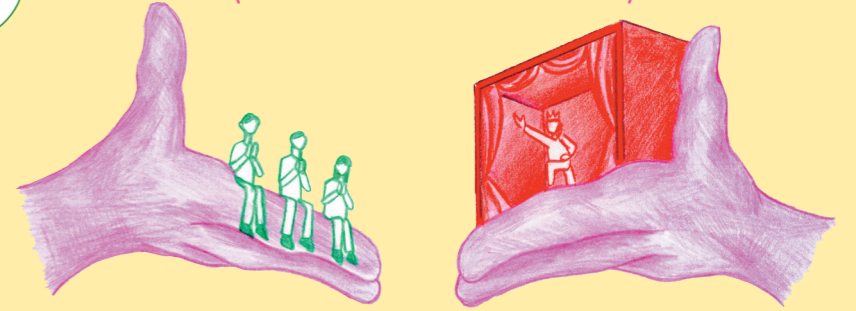
データベースに掲載
EPADに舞台公演映像をアーカイブすることで「EPAD作品データベース」へ登録され、作品情報の検索が可能になります。



point 2

何度もであう

劇場等で生の舞台を鑑賞する機会への
橋渡しになることを願っています!



配信・上映会での活用

舞台公演映像は、アーカイブするだけでなく、権利処理を行うことで配信や上映への活用が可能になります。

これまでの公開サポート
作品数は**800**作品以上
※2026.3.31時点見込

EPADでは、これまで多数の作品の権利処理をサポートすると共に、全国各地での上映会実施の促進など、舞台芸術と観客が出会う機会の創出を推進してきました。

アーカイブを通して

ぜひ、私たちに声をかけてください。
手を取り合い、一緒に舞台芸術を
未来に繋いでいきましょう。

このリーフレットでは、舞台芸術に携わる方々に向けて、EPADがサポートできる取り組みを紹介しています。アーカイブ活動に迷った時は、

EPADは、日本のかけがえのない舞台芸術を、次世代へ受け継ぎ、世界へ届ける。その営みを、ともに支え、育てていけるしくみを、皆さまと築いていきたいと考えています。それは、日本の舞台芸術の「地図」を、未来に向かって描き出す、新たな旅のはじまりです。

日々、創作とアーカイブ活動の両立に悩まれている方も多いのではないのでしょうか。

しかし、この「アーカイブ」の作業は人手やコストの負担が大きく、当事者の引退によって貴重な資料が散逸してしまうことも少なくありません。

それは、未来の舞台芸術をより豊かにしていく活動であり、さらに、近い将来の自身の活動をステップアップさせていく取り組みにもなり得ます。

自分たちの活動の記録を
「のこして」つなげる

描く未来

point 3

誰もが
たのしめる



映像は後から、多言語字幕や情報保障を付して、広げていくことが可能です。

EPAD×THEATRE for ALL

株式会社precogが運営するアクセシビリティに特化したオンライン劇場。EPADはTHEATRE for ALLと協働し、バリアフリー字幕や音声ガイド、手話などの情報保障の製作をサポートし、配信される作品を増やしてきました。



JAPAN FOUNDATION
国際交流基金

国際交流基金

「STAGE BEYOND BORDERS」

国際交流基金による、日本の優れた舞台公演を海外向けにオンライン配信するプロジェクト。舞台公演映像に多言語字幕を付け、YouTubeにて無料配信を行っています。EPADは一部作品について協働し、配信される作品を増やしてきました。



point 4

次世代へ
つたえる

教育での利活用

教育現場へ向けて、時と場所を超えて舞台公演映像を届けます。「観たいときに自ら触れられる」環境を整え、豊かな先人の創造を次世代へ伝えます。多様な作品の鑑賞を通じて、未来の創造、観客の土壌を耕すことを目指しています。



point 5

あつまる



EPAD
ポータルサイト

舞台公演映像の活用事例やアーカイブに取り組んでいる人々の声など、実践に役立つ、舞台芸術アーカイブにまつわる様々な情報が集まっています。